

# 岡山県指定重要無形文化財

松井 與之（1931年～）

ロクロや手びねりで、主に茶陶や花器や酒器を製作しています。



2種類の土を練り合わせて焼き上げる練り込みや、京焼の新鮮味を備前焼に取り入れ、銀彩、藍彩の焼成の研究にも熱心です。新しい作品の創造に取り組み一方、伝統をふまえての備前焼にも力を入れていきます。

昭和44年 日本工芸会正会員となる。

昭和54年 支部展審査員となる。

平成8年 岡山県指定重要無形文化財保持者認定

山本 雄一（1935年～）

人間国宝・山本陶

秀の長男として生まれました。

父の技法を継承する一方、備前焼の科学的焼成を研究し、

昭和43（1968）年、備前焼で初めてガスを導入し、全自動のガス炉を完成させました。また緋襷を人工的に再現するなど化学的研究にも力を注いでいます。



古備前の味を出しながら胡麻の光沢を和らげたみごとな作品を生み出すなど、創作活動にも意欲的に取り組んでいます。

昭和42年 日本工芸会正会員となる。

平成7年 備前焼の技法「伝統と創造」を出版

平成8年 岡山県指定重要無形文化財保持者認定

岡山日日新聞芸術文化功労章授章

平成10年 紺綬褒章授章

吉本 正志（正）（1943年～）

人間国宝藤原啓の

内弟子となり、技術を磨きました。作風は単純明快を追求し、自由におおらかに作り出される大物の壺や花入れなど、師匠譲りの風趣がみごとに生かされています。独自に取り組んだ「たたら造り」の作品には、土味の豊かさが醸し出され、作者の工夫と技の錬磨が感じられます。

昭和39年 藤原啓（人間国宝）の内弟子となる。

昭和50年 備前市閑谷に築窯

岡山県青少年教育センターロビー陶壁制作

フランス・セーブル国立陶磁器美術

「備前焼一千年の伝統美展」に出品

平成19年 岡山県指定重要無形文化財保持者認定



金重 晃介（1943年～）

人間国宝金重陶陽

の3男

金重道 明の弟

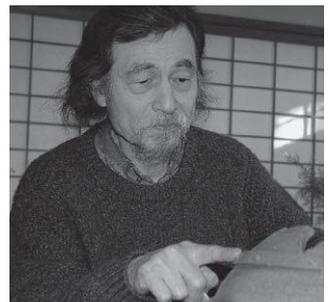
父の手法を受け継ぎ、土づくりや伝統的な登り窯での焼成にこだわり、表情豊かな作品を生み出しています。

茶陶や花器などの伝統的な作品群のほか、未知の可能性を引き出した造形を追求し、独創的な造形表現による作品も手がけています。

昭和43年 東京芸術大学美術学部彫刻科卒業

昭和57年 備前市香登に築窯

平成24年 岡山県指定重要無形文化財保持者認定



山本 出（1944年～）

人間国宝山本陶秀

の4男

父に師事し、ロクロ技術を学びました。

茶陶や花器などの伝統的な作品群のほか、土を叩き込む叩込技法、土に顔料を混ぜ込む出彩技法など、さまざまな表現に挑戦しています。また、土を板上に重ね上げる積上技法による彫刻的表現の作品も手がけています。

昭和43年 武蔵野美術大学彫刻科専攻科卒業

パリ・エコール・デ・ボザール（パリ国立美術学校）2年間留学



昭和45年 帰国後 父 山本陶秀に師事

昭和50年 築窯して独立、独自の「叩込」に取組む

昭和54年 日本工芸会正会員に認定

昭和57年 独自の「備前土出彩」に取り組み

平成元年 独自の「積上げ」手法に取り組み

平成5年 「備前土」「ブルゴーニュ土」での製作に取り組み

平成7年 フランス・ブルゴーニュ州・ヨース

県「ラテイエ城」にて製作・窯焚き

平成12年 伊勢神宮へ積上花器「抱擁」を奉納

アメリカ・イギリス・フランスの博物館美術館に招待作品

平成24年 岡山県指定重要無形文化財保持者認定

## 島村 光（1942年～）

猫・雀・鶏・鼠・

登り窯・煙一穴・煙・

松割木など、身の回

りに存在する動物や

情景を中心に、手び

ねりと型づくりに

よって、獨創性あふ

れるユーモアたっぶ

りの置物や香炉といった細工物を手掛けています。

昭和51年 独学で作陶を始める。

昭和53年 長船町磯上山田に築窯

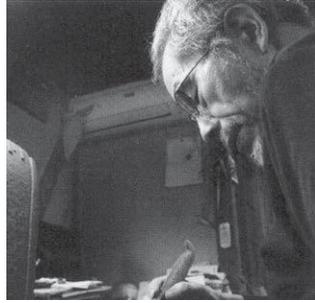
平成4年 備前市久々井に築窯

平成25年 備前市指定無形文化財

平成31年 岡山県指定重要無形文化財保持者認定

令和6年 備前・現代陶芸ビエンナーレ2024

グランプリ受賞



## 金重 有邦（1950年～）

金重素山の3男で

金重陶陽の甥

茶碗・水指・花入

などの茶陶を中心に

手掛けています。近

年では山土を使用し、

素朴で豊かな土味を

極限まで引き出すこ

とに力を注いでいます。山土焼成専用の窯を築く

など、伝統本流の立場から備前焼の可能性に挑戦

しています。

昭和50年 父・素山（岡山県重要無形文化財）

のもとで陶技を学ぶ。

昭和55年 独立

平成25年 備前市指定無形文化財

平成31年 岡山県指定重要無形文化財保持者認定

### 〔引用元〕

「備前市の文化財」令和4年3月

備前市教育委員会

